

Head-to-Tail型カルバゾール 誘導体の光・電子機能



RISMセミナー 令和2年1月14日(火)
10:40~12:10
30番講義室
アルブレヒト 建 准教授
九州大学先導物質化学研究所・JSTさきがけ

Head-to-Tail型に結合したカルバゾールオリゴマー及び dendrimer は双極子モーメントが足し合わされて全体として分極したユニークな π 電子系を有していることが明らかとなっている。本講演ではこの電子構造に由来した光物性として熱活性化遅延蛍光 (TADF) 特性と塗布型有機EL材料としての展開及び電子物性として単分子ダイオードとしての展開について最近の研究を紹介する。

アルブレヒト 建 (九州大学・先導物質化学研究所・准教授/JSTさきがけ研究員)

【研究分野】高分子化学、材料化学

<学歴>

2006年3月 慶應義塾大学 理工学部 化学科 卒業
2008年3月 慶應義塾大学大学院 理工学研究科 修士課程 修了
2010年9月 慶應義塾大学大学院 理工学研究科 博士課程 修了

<経歴>

2009年 4月~2010年9月 日本学術振興会 特別研究員(DC2)
2010年10月~2012年7月 東京工業大学 資源化学研究所 (現 化学生命科学研究所) 特任助教
2012年 8月~2018年12月 同 助教
2016年 4月~2018年12月 山元アトムハイブリッドプロジェクト グループリーダー兼任
2018年10月~ JSTさきがけ「電子やイオン等の能動的制御と反応」領域 研究者 兼任
2019年 1月~ 九州大学 先導物質化学研究所 准教授(文部科学省 卓越研究員)
2019年 4月~ 京都大学 電池元素戦略研究拠点ユニット 拠点准教授 兼任

<受賞など>

第61回高分子研究発表会ヤングサイエンティスト講演賞(2015.7), 平成27年度 高分子研究奨励賞(2016.5), 日本化学会 第97春季年会 若い世代の特別講演(2017.3), 日本化学会 第89会春季年会 優秀講演賞(2009.3), 日本化学会 第89会春季年会 学生講演賞(2009.3), International Conference on Science and Technology of Synthetic Metals 2010 (ICSM-2010) "Young Researcher Poster Award" (2010.7), The 9th SPSJ International Polymer Conference (IPC2012) "Young Scientist Poster Award" (2012.12), 日本化学会 第93会春季年会 優秀講演賞(2013.3), 分子アーキテクニクス研究会 若手優秀講演賞(2018.11), 東工大工系教育賞(2019.1)

世話教員・お問い合わせ先: 杉本 渉(繊維学部/先鋭材料研究所(RISM))